	平成 25 年 9 月 17 日 (2013 年)
吹田市長	あて
	住所 大阪府堺市西区鳳東町4丁401-1
	※注1 コーナン商事株式会社 氏名 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	事業所 代表取締役 疋 田 耕 造
	電話 (072) 274 — 2701
事業の名称	(仮称)ホームセンターコーナン吹田市吹東町店 新築工事
対象事業区域	吹田市 大阪府吹田市吹東町222番1 他9筆
※注1	住 所 大阪府堺市西区浜寺石津町中3丁8-7
設計・代理者	有限会社 南海総合設計 氏 名 代表取締役 西 郷 寿 一
	電話() 一(担当者:
※注1	住 所 大阪府大阪市中央区北浜東4番33号
工事施工者	株式会社 大林組 大阪本店 氏 名 代表取締役 脇 村 典 夫
	電話()
	平成 25 年 (2013 年) 9 月 1 日 から
事業予定期間	平成 26 年 (2014 年) 3 月 15 日 まで
	計画部分 既存部分 合 計
	対象事業面積 7,474.00 ㎡ ㎡ 7,474.00 ㎡
	建 築 面 積 4,165.02 _㎡
事業の規模	延べ面積 6,174.43 m m 6,174.43 m
	最 高 の 高 さ 9.90 m
	鉄骨 造·一部 造 構 造 · 階 数
	世
	区分 ☑ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 新設 □ 増設
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業
	□ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的:)
	② 建築物の新築又は増改築の事業
事業の目的・内容	□ 工場・事業場 □ 住宅・共同住宅(戸) ☐
	☑商業施設□事務所□公共的建築物
	☑ その他(:付属駐車場) 〕
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 受 付
	□ その他(
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる
	・ガイドライン取組事項チェックリスト
添付書類	・工事関連車輌通行ルート図
	・その他必要と認める図書

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

私達は、良き企業市民として地域社会と協調を図るとともに、地球環境問題にも積極的に取り組みます。

当該事業における 環境まちづくり方針

資源の有効活用、リサイクル、省エネに取り組みます。

地域に密着した店づくり、商品・サービスの提供を行います。

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率 98 パーセント

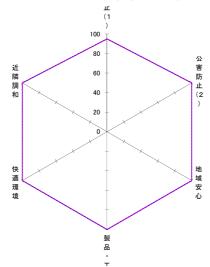
(小数点第2位以下切り捨て)

実施する・一部実施するの項目数

該当なしを除いた項目数

51

---:方針(案), —:方針



	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方針	19	14	5	3	5	5
針	20	14	5	3	5	5
			1	7		
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方() 針()	19	11	5	3	5	5
針。	20	11	5	3	5	5

主な実施内容

- ・道路上での工事車両の不要な待機や空ぶかしなどの行為を行わない様にします。
- ・可能な限り低騒音・低振動の建設機材を用いることに留意し、工事中の周辺環境への影響について十分考慮 L ます
- ・工事段階でのリサイクル率の向上を図るように工事施工者に指示します。
- ・近隣住民の方々に対する十分な工事計画の説明を行い、近隣住民の方々の生活環境にも配慮した工事計画 を検討していきます。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設·設備等

実施率 75 パーセント 実施する・一部実施するの項目数

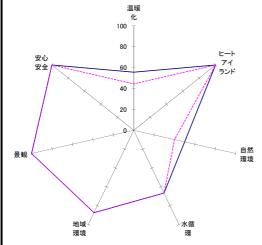
24

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

32

---:方針(案), —:方針



	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方針	5	1	2	2	7	4	3
針	9	1	4	3	8	4	3
		ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方 針	4	1	2	2	7	5	3
案	9	1	5	3	8	5	3

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

75.0 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

共用部廊下・EVホール等の照明器具及び、屋外通路等の街灯には出来るだけ「高効率・ 長寿命型蛍光灯」や「LED照明」を採用し省エネルギー化を図りCO2の排出量を抑制しま

(2)緑地面積

緑化率

10.1 %

条例基準分

<mark>10.0</mark> %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用

雨水貯留量

0.0 t

うち雨水利用量

利用目的

【□植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

- (4)上記以外の主な実施内容
 - ・空調機の室外機の配置について騒音や振動対策を行います。
 - ・周辺環境への自動車の排ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居により離れ た位置に配置するよう可能な限り対応致します。

 - ・廃棄物置場は室内に設置することで、近隣への悪臭などに配慮します。・ボリュームを抑え、外壁は明るい色とし、空となじませ、緑化と調和させる計画とします。
 - ・車両出入口部分には歩行者が安全に通行できるように警備員を配置します。・自動火災報知設備を導入し、火災の発見を行います。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針(案)からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
3~7	一部実施する	実施する
12	一部実施する	実施する
14~18	一部実施する	実施する
21	一部実施する	実施する
25	該当なし	実施する
26	一部実施する	実施する
30	一部実施する	実施する
31	該当しない	実施する
35	該当しない	実施する
43	一部実施する	実施する
50	一部実施する	実施する
59	実施しない	実施する
69	実施しない	該当なし
85	一部実施する	実施する
92	実施する	該当なし

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)				

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン 取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 内 容 実 施 の 有 無 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施したい及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
	まれい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•
建設機	養械	
1	低公害型建設機械の使用	□ 実施する ☑ 一部実施する 出来るだけ、低騒音型の建設機械を使用致します。低振動型、排出ガス対策型については可能な限り検討致します。 出力ス対策型については可能な限り検討致します。
2	低燃費型建設機械の使用	□ 実施する □ 一部実施する 現状、低燃費型の建設機械はあまり市場に出回っておらず、手配が難であるため使用はしません。
3	アイドリングの禁止	図 実施する □ 一部実施する
4	環境に配慮した運転	□ 実施する □ 一部実施する □ 清焼に配慮する為、不要な空ふかし等を行わない様、工事施行者にして指導します。
5	稼動台数の抑制	□ 実施する □ 一部実施する □ 一部実施する □ 大部実施する □ 大部実施する □ 大部 □ 対率的な工事計画を立て稼働台数を制御します。
6	工事の平準化	□ 実施する □ 一部実施する □ 本事計画を立て一時的に集中して稼働しないよう工事の平準化を図よう努力します。
7	機械類の整備点検	▽ 実施する □ 一部実施する 機械類は定期的な整備点検を、工事施行者に対して指導します。 □ 実施しない □ 該当なし
工事問	関連車両	
8	低公害車の使用	□ 実施する ☑ 一部実施する 出来るだけ、燃費や排出ガス性能の良い車両を使用します。(朝礼の場合で作業員に周知します。)
9	大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし
10	工事関連車両の表示	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし 工事関連車両については、車両前面に本工事関係車両であることかわかるようステッカー等を掲示します。
11	周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設 定	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし 工事車両運行ルートは周辺道路、住居の立地状況を勘案し、現場前には誘導員を配置し、一般の交通、登下校時の安全確保に努めます。
12	建設資材の搬出入における車両台数の抑制	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両数を抑制します。
13	工事関連車両台数の抑制	□ 実施する ☑ 一部実施する 通勤車両に関しては、出来る限り徒歩・自転車・公共機関・相乗りを4 い車両台数を抑制します
14	土砂の積み降ろし時の配慮	
15	タイヤ洗浄	▽ 実施する □ 一部実施する 周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、車両の出入り口でタイヤー 浄を行います。

	取組事項	実 施 内 容 実 施 の 有 無 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施 い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	にな		
16	ドラム洗浄時の配慮		さいて		
17	場外待機の禁止	▽ 実施する □ 一部実施する	よう対		
18	クラクションの使用抑制	▽ 実施する □ 一部実施する クラクションの使用は必要最小限にします。□ 実施しない □ 該当なし			
19	アイドリングの禁止	▽ 実施する □ 一部実施する 自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリンクをしません。□ 実施しない □ 該当なし			
	環境に配慮した運転				
工事方:	法 振動等				
	防音シートなどの設置	▽ 実施する □ 一部実施する激しい音の出る作業については防音シートを使用する。□ 実施しない □ 該当なし			
22	丁寧な作業	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし			
23	騒音や振動の少ない工法の採用	▽ 実施する □ 一部実施する 杭の施工などに際には騒音や振動の少ない工法を採用します。□ 実施しない □ 該当なし			
24	近隣への作業時間帯の配慮		計に配		
粉じん	・・アスベスト				
25	解体、掘削作業の配慮				
26	飛散防止対策				
27	アスベストの調査など	□ 実施する □ 一部実施する			
28	アスベストの飛散防止措置	□ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし			
水質剂	水質汚濁·土壌汚染·地盤沈下				
29	濁水や土砂の流出防止	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし □ 実施しない □ 該当なし	へて検		
30	塗料などの適正管理及び処分	▽ 実施する □ 一部実施する 塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗料器具の洗済 適正に処分します。□ 実施しない □ 該当なし	争液は		
31	土壌汚染物資の拡散防止措置	▽ 実施する □ 一部実施する土地の利用履歴を調査し、土壌汚染がないことを確認しておりま□ 実施しない □ 該当なし	きす。		

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する	改良材の飛散の防止、騒音の防止に配慮します。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤に影響の内容に振動等の無い工法にします。
悪臭•	廃棄物		
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気 対策を行います。
35	現地焼却の禁止解体時の環境汚染対策	☑ 実施する □ 一部実施する	現地では廃棄物などの焼却は行いません。
36	解体時の環境汚染対策	□ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物は有りません。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策地域との連携に おける事故の防止	□ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮な どにより臭気対策を行います。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	地域との連携における事故の防止	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	誘導員を設置し、事故防止に努めます。
39	児童などへの交通安全の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に 配慮します。
40	夜間や休日の防犯対策	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入口を施錠するなどの対策を講じます。
41	児童などへの見守り、声かけ		ガードマン等による登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけ 等に努めます。
42	地域の防犯活動への参加	□ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などと可能な限り連携し、地域の防犯活動に参加します。
環境に	配慮した製品及び工法を採用します。		
省エネ	ドルギー -		
43	エネルギー消費の抑制	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	工事中に使用する材料・電気及び水道水等の消費を抑制します。
省資源	京		
44	残土発生の抑制		建設発生土は一部については場内の埋め戻しに使用するなど、残土 の発生を抑制します。
	廃棄物の減量	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量します。
快適な	環境づくりに貢献します。		
景観		Ţ	
46	仮囲い設置時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 します。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレ設置時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを施工計画において検討し工夫対応します。
周辺の	カ環境美化		
48	周辺道路の清掃	□ 実施しない □ 該当なし	周辺道路について、清掃等の必要な措置を講じます。
49	場内整理	□ 実施しない □ 該当なし	建設資材や廃棄物等の場内の整理整頓に努めます。
ヒート	アイランド現象の緩和		
50	打ち水	□ 実施しない □ 該当なし	夏期において周辺道路などに打ち水を行います。
地域と	の調和を図ります。		
工事記	说明・苦情対応		
51	工事内容の事前説明及び周知	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また 工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るととも に、工事中も外部の見やすい位置に週間工程表を掲示します。
52	苦情対応	□ 実施しない □ 該当なし	工事に関しての問い合わせ対応の連絡先を掲示し、苦情が発生した 際には真摯に対応します。
周辺(D教育・医療・福祉施設への配慮		
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	「吹田東小学校」「第五中学校」「大阪学院大学」「大阪学院短期大学」 校が近くににあるため、出来る限り配慮した工事計画とします。
54	騒音、振動などの配慮	□ 実施しない □ 該当なし	「吹田東小学校」「第五中学校」「大阪学院大学」「大阪学院短期大学」 校が近くににあるため、騒音・振動等に出来る限り配慮した工事計画と します。
周辺の			
55	複合的な環境影響の抑制	□ 実施しない □ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車輌の 通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域にお ける大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者など と連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を 事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項		実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用	□ 実施する ☑ 一部実施する	大阪府建築物の環境配慮制度を適用し、CASBEE-簡易版にて、可能な限り高いBEE値となるように努力します。また、結果はパンフレット等に掲示します。なお、大阪府建築物環境性能表示の重点項目である、CO2削減、省エネ対策、みどり・ヒートアイランド対策について、できる限り高い評価となるように努力します。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用		昼間も常時点灯となる共用部照明器具は出来るだけ「高効率・長寿命 型蛍光灯」や「LED照明」を採用します。
58	再生可能エネルギーの活用		太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネルギーは事業採算上、採 用致しません。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入 の検討	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	空調機器はヒートポンプシステムを採用します。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止		高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備空調機器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際、共用部に設置する空調機については冷媒の漏えいが発生しないように設計します。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制		採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させることで、建築物のエネル ギー負荷を抑制します。
62	長寿命な建築物の施工	□ 実施する□ 一部実施する☑ 実施しない□ 該当なし	商業施設の為、採用致しません。
63	環境に配慮した製品の採用		リサイケル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品の積 極的な採用は、費用の面で困難な為、実施しません。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用		高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが少ない建設資材などは 事業採算上困難な為、採用致しません。
ヒート			
65	ヒートアイランド対策	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	屋上緑化に努め、夏期においては周辺道路などに打ち水を行い、高反射塗料を使用します。
自然環	 環境を保全し、みどりを確保します。		
66	動植物の生息や生育への配慮	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	事業地とその周辺は既成の住宅地や工場等で有る為、実施しません。
67	地域のシンボルツリーの保全		現状が更地の為、既存の大きな樹木、植生等がなく、既存の植物への 配慮は該当いたしません。
68	既存の植生の保全	□ 実施しない ☑ 該当なし	事業地内には移植可能な植樹がないため該当しません。
69	生物の生息空間の保全	□ 実施しない ☑ 該当なし	事業計画地に隣接する緑地等がないため、該当しません。
70	駐車場緑化		事業採算上困難な為、採用致しません。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	屋上緑化など	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	屋上駐車場で空地部分にて緑化を行います。(163.63㎡)
72	法面縁化	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	事業地内には法面が無い為、該当しません。
73	植栽樹種の選定	□ 実施しない □ 該当なし	植栽樹種は、メンテナンス等も考慮しなるべく地域の環境に合わせた 樹種を選定するようにします。
水循環	最を確保します。 		
74	水資源の有効利用	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	雨水を利用する設備の導入は費用の面で実施しません。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	事業区域面積に応じて雨水流出抑制するために、雨水浸透桝の設置 を行います。
76	雨水浸透への配慮	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	オープンスペース、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、浸透性 のある舗装などの採用を検討します。
)生活環境を保全します。		
	騒音・振動等 騒音を発生させる設備設置時の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	空調機の室外機の配置について騒音や振動対策を行います。
78	防音サッシの設置	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	商業施設の為、計画建物は防音を要しない。
79	駐車場の配置計画時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	周辺環境への自動車の排ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置 は住居により離れた位置に配置するよう可能な限り対応致します。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	□ 実施しない □ 該当なし	廃棄物置場は室内に設置することで、近隣への悪臭などに配慮します。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	□ 実施しない ☑ 該当なし	ボイラー等の設置予定はありません。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☑ 実施する □ 一部実施する	外構には外灯など設置しますが、過度な照明は行わない計画とします。
83	建築資材による光の影響の考慮	□ 実施しない □ 該当なし	建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光 の影響を考慮します。
84	環境に配慮した塗料の使用		塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用します。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮		「吹田東小学校」「第五中学校」「大阪学院大学」「大阪学院短期大学」 校が近くににあるため、騒音・振動等を出来る限り配慮した工事計画と します。

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高	層建築物(高さ10メートルを超える建築物)		
86	日照障害対策	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	最高高さが10mを超えません。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	最高高さが10mを超えません。
88	電波障害発生時の改善対策	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	最高高さが10mを超えません。
89	プライバシーの配慮	□ 実施しない ☑ 該当なし	最高高さが10mを超えません。
景観書	 きちづくりに貢献します。		
90	地域への調和		本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮し、建物の色彩や敷地の緑化対策などの配慮を行います。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた 計画及び設計		景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、 該当する方針に努めます。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計		景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではないが、ボ リュームを抑え、外壁は明るい色とし、空となじませ、緑化と調和させる 計画とします。
93	景観形成地区指定の協議	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	事業区域の面積が1ha未満のため該当なし。
94	景観形成基準の遵守	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	吹田市と協議を行い、配慮した計画とします。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	吹田市と協議を行い、配慮した計画とします。
安心多	そ全のまちづくりに貢献します。		
96	歩行者が安全に通行できる空間整備		車両出入口部分には歩行者が安全に通行できるように警備員を配置 します。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備	□ 実施しない □ 該当なし	自動火災報知設備を導入し、火災の発見を行います。
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	共用部に防犯対策をほどこします。

